

取扱説明書

IRINO

301192

CF03-4

操作ボックス部 C S D
CSD-904

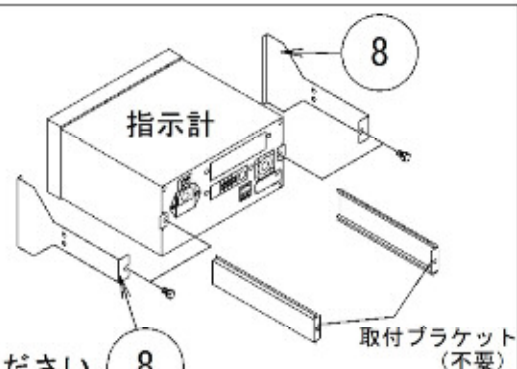


操作ボックス取付方法（自動シャッター）

CSD904A

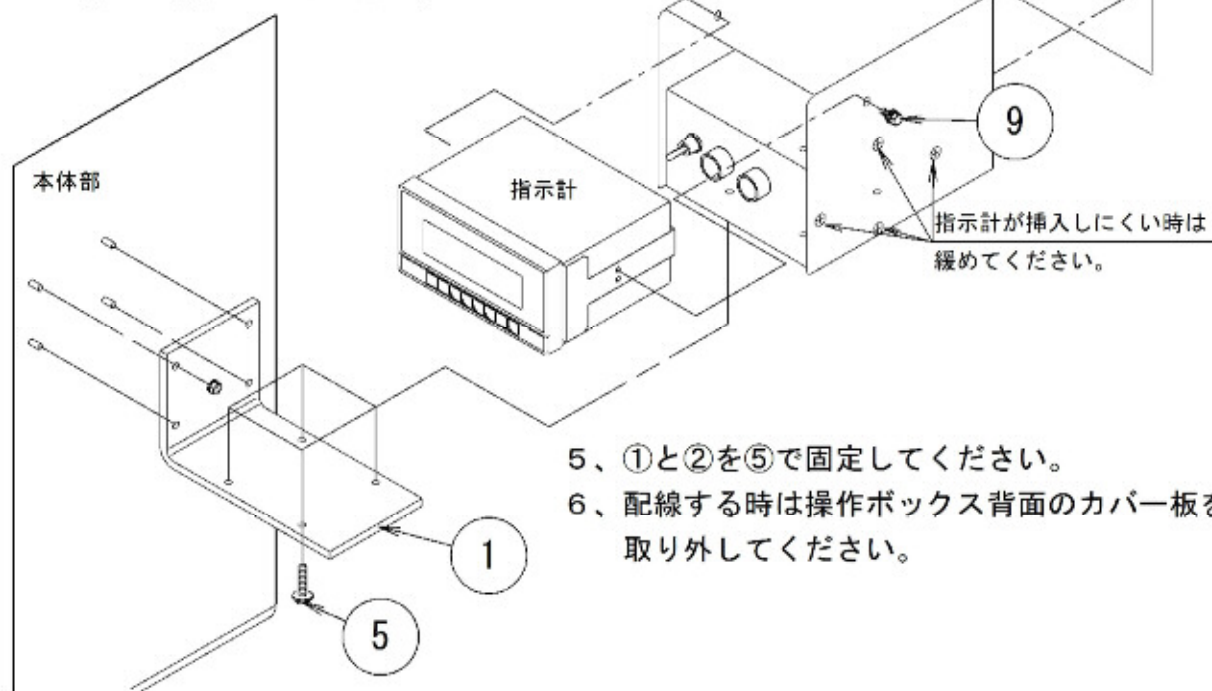
操作ボックスの取り付け方

- 1、指示計に取り付けてある取付ブラケットを取り外してください。（取付ブラケットは本製品では使用しません）
- 2、指示計と⑧を右図のように取り付けてください。

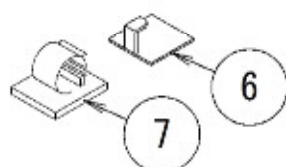


- 3、本体部に①をM6セレートナットで取り付けてください。
- 4、指示計を②の空スペースに挿入して⑨で固定してください。

* 指示計が挿入しにくい場合は②の横面に付いているトラスネジを（4箇所）緩めて挿入してください。



- 5、①と②を⑤で固定してください。
- 6、配線する時は操作ボックス背面のカバー板を取り外してください。



* 必要に応じて⑥⑦を使用してください。

①	操作ボックス固定板	1
②	操作ボックス	1
⑤	M6×20P3ボルト	4
⑥	ハイステッカー	5
⑦	NKクランプ	5
⑧	指示計止金具	2
⑨	M5×10P3ボルト	2

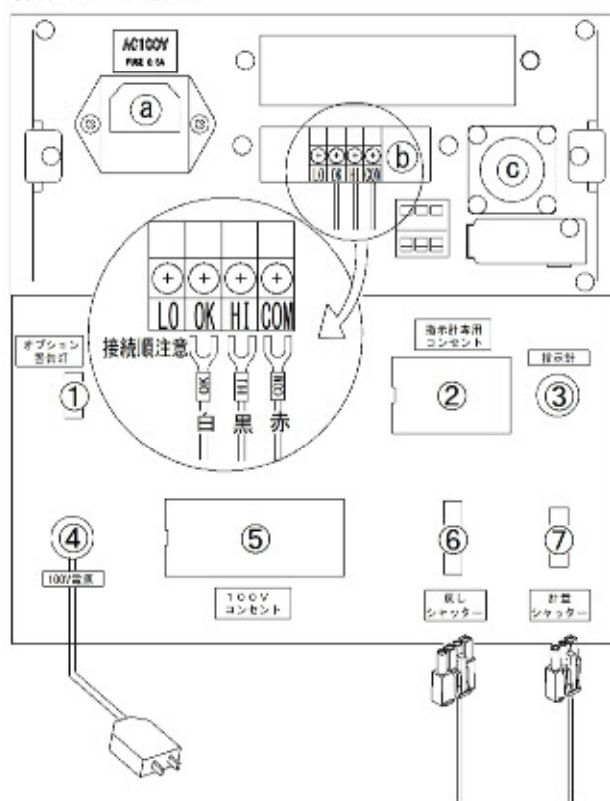
操作ボックス配線方法(自動シャッター)

CSD904A

配線方法と各部の名称

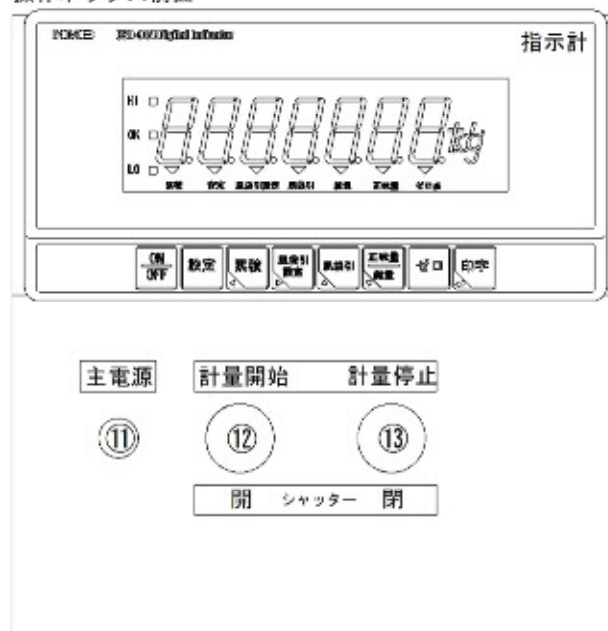
1、操作ボックス背面のカバー板を取り外して配線を行ってください。

操作ボックス背面



⑧	電源ソケット ⑧⇔②
	電源ケーブルを接続してください
⑨	外部コネクタ ⑨⇔③
	③の端子を接続してください(接続順注意)
⑩	ロードセルコネクタ ⑩⇔台秤
	台秤の配線(ロードセル線)を接続してください
⑪	オプション警告灯(黄)コネクタ(2極コネクタ)
	警告灯のコネクタを接続してください
⑫	指示計専用コンセント
	指示計の電源ケーブルを接続してください
⑬	指示計コード
	指示計の端子台(⑨)に接続してください
⑭	100V電源コード
	100V電源を供給してください
⑮	100Vコンセント
	サンプラーや30Kg秤の100V電源として利用してください
⑯	戻しシャッターコネクタ(4極コネクタ)
	戻しシャッターを接続してください
⑰	計量シャッターコネクタ(3極コネクタ)
	計量シャッターを接続してください

操作ボックス前面



⑪	主電源OnOffスイッチ
	操作ボックス、指示計のオン/オフを行います
	緑ボタン
⑫	計量シャッターが開き、計量を開始します
	定量後の繰ぎ足し投入は3秒間長押しでシャッターが開きます
	赤ボタン
⑬	計量シャッターが閉じ、計量を停止します

指示計の設定方法（定量、定量前）

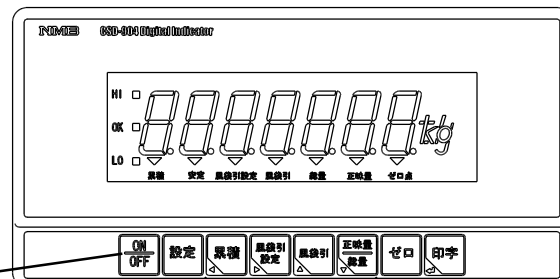
CSD904A

定量と定量前を設定してください。それ以外の設定項目を変更しないでください。
誤作動の原因になります。設定した内容は電源をOFFにしても保存されています。

定量・・・出荷重量を設定してください。

CSD-904A指示計

定量前・・・大投入から小投入に切り替わる重量です。定量に対して何kg手前で切り替えるかの設定です。
通常は5.0kgに設定しています。

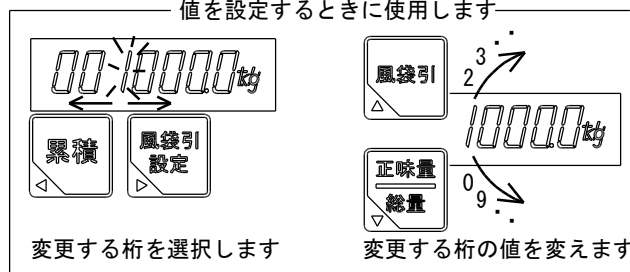


表示をON/OFFします

参考

SEF0	定量値 ～1500.0
SEF1	落差 必ず0.0
SEF2	定量前値 必ず5.0
SEF3	ゼロ付近 必ず0.0

値を設定するときに使います

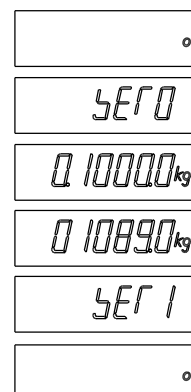


変更する桁を選択します

変更する桁の値を変えます

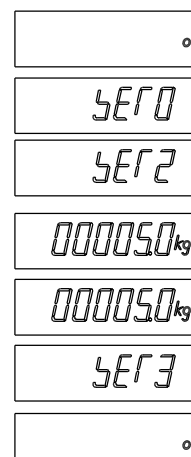
「定量」設定方法（例1089.0kgの場合）

- ① 表示がOFFの状態
- ② 印字 キーを押しながら ON/OFF キーを押す。
- ③ 印字 キーを押す。
- ④ 累積 風接引設定 風接引 正味量 総量 キーを使用して値を1089.0に変更する。
- ⑤ 印字 キーを押す。
- ⑥ ON/OFF キーを押す。設定終了です。



「定量前」設定方法（通常は5.0kgに設定しています。変更する必要はありません。）

- ① 表示がOFFの状態
- ② 印字 キーを押しながら ON/OFF キーを押す。
- ③ 風接引 キーを2回押してSET2にする。
- ④ 印字 キーを押す。
- ⑤ 累積 風接引設定 風接引 正味量 総量 キー使用して値を5.0に変更する。
- ⑥ 印字 キーを押す。
- ⑦ ON/OFF キーを押す。設定終了です。

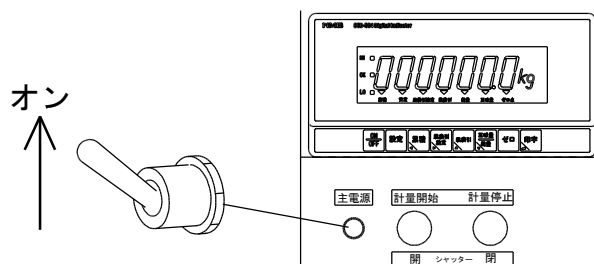


*途中で入力を間違えた場合は ON/OFF キーを押して表示をOFFにして最初から入力をやり直してください。

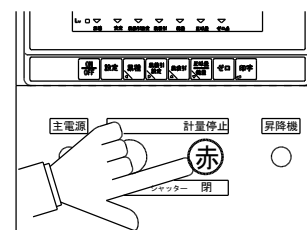
計量方法

CSD904A

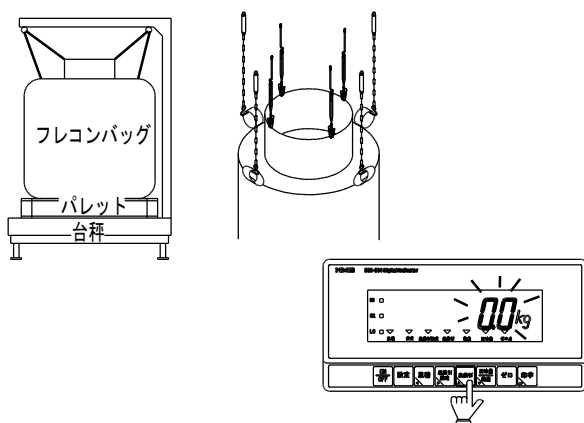
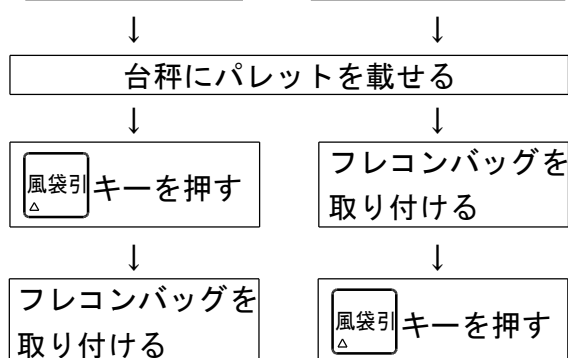
- 1) 操作ボックスの主電源をオンにしてください。
→指示計の電源が入ります。



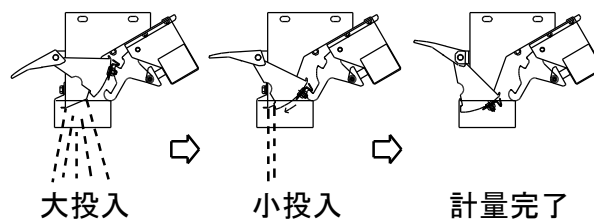
- 4) 計量を途中で一時停止させたい場合は
赤ボタンを押してください。 参考
→シャッターが閉じ、計量が停止します。
計量を再開するときは 3) を実施
してください。



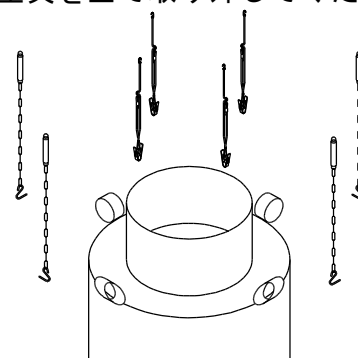
- 2) 下記の作業順序に注意してください。
風袋重量を含む場合 風袋重量を含まない場合



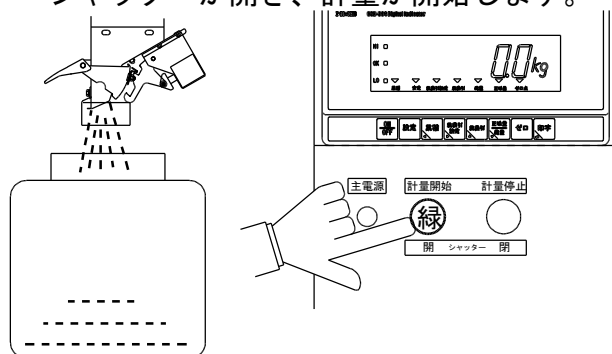
- 5) 定量の数キロ前でシャッターが大投入から
小投入に切り替わります。
6) 定量になったら自動でシャッターが閉じ
計量が完了します。



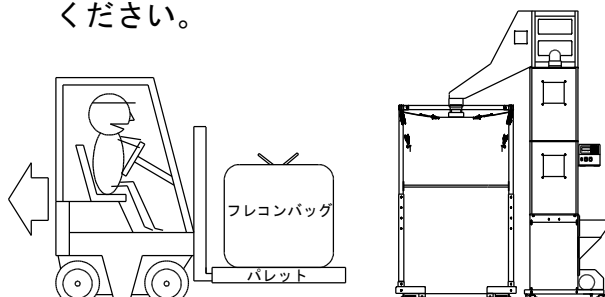
- 7) フレコンバッグホルダーからフレコンバッグの
吊り下げ金具を全て取り外してください。



- 3) 操作ボックスの緑ボタンを押してください。
→シャッターが開き、計量が開始します。



- 8) パレットごとフレコンバッグを取り出して
ください。



- 9) 再度計量を行う場合は 2) から
作業を繰り返してください。

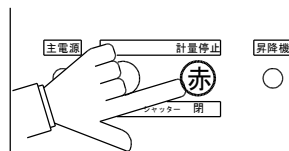
作業上の注意点

定量付近で台秤上に乗リフレコン内の米を整える場合、以下の点に気を付けて作業を行ってください。

1) 定量付近で台秤上に乗る場合は

→必ず計量を停止して台秤上に乗るようにしてください。

計量を停止しないで人が台秤に乗ると、人の体重で定量に達してしまい誤作動を引き起こすことがあります。

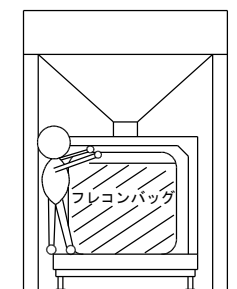


2) 定量付近で計量を再開する場合は

→必ず台秤上から人が降りて、重量値が安定してから計量を再開してください。

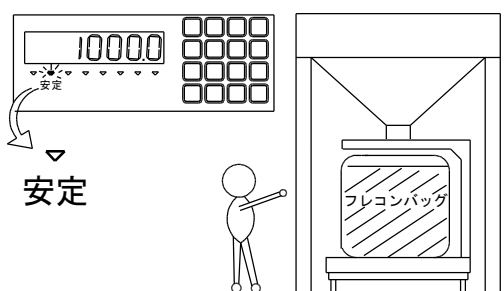
人が乗った状態で計量を再開したり、重量が安定していない状態で計量を再開すると、定量値でシャッターが閉まらないことがあります。

1)



→必ず計量を停止して
台秤上に乗る

2)



→必ず台秤上から降りる
→重量が安定してから計量を再開する

* 計量開始ボタンを押してもシャッターが開かない時・・・

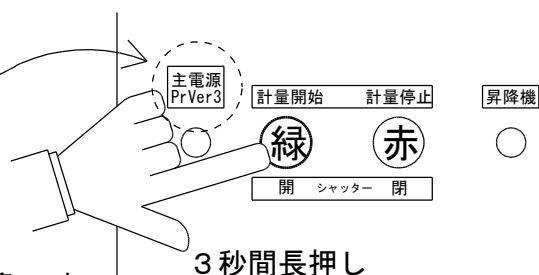
→安全ロック機能が働いています。数秒待ってから計量開始ボタンを押してください。
計量シャッターが開き計量が再開されます。

定量後に継ぎ足し投入する場合 (PrVer3のみ)。

定量後に継ぎ足し投入する場合は計量開始ボタンを通常押ししてもシャッターが開きません。

→計量開始ボタンを3秒間長押しすると計量シャッターが開きます。

* 主電源の下にPrVer3と表示しているものが対象です。



お客様メモ

This image shows a full page of white paper designed for handwriting practice. It features 20 evenly spaced, horizontal dashed lines that run across the entire width of the page. There are no margins, text, or other markings present.

